



## 郵便局と災害時の協定を締結しました

災害時に必要な対応を円滑に行えるよう、7月14日、町と町内郵便局および岩国郵便局の間で災害発生時の協力協定が締結されました。

協定には、避難所の状況や被災者の同意を得て作成された避難者リストの相互提供のほか、郵便局のネットワークを活用した広報活動や郵便業務の被災者に対する援護対策などが盛り込まれており、大規模災害時に、きめ細かな連携が行えるよう相互協力を図ります。

## 周防大島高校で福祉体験

町内の小中学生に福祉に対する興味を深めてもらおうと、周防大島高校久賀校舎で7月9日・10日の両日、福祉体験会が行われました。

これは、周防大島高福祉科の3年生が企画しているもので、7月10日は東和中学校の1年生18名が参加し、入浴介助やベッドメイキングの仕方、高齢者体験をはじめ、車いすや点字、手話などを体験しました。

日頃あまりできない体験とあつて、参加した中学生は、高校生の丁寧な説明もあり、熱心に取り組んでいました。



▲介護用の浴槽で入浴介助の指導を受けました

## ビーチバレー大会2015



## 社会を明るくする運動

7月1日、「社会を明るくする運動」を広く周知するため、大島保護区保護司会と大島地区更生保護女性会が中心となり、町内をパレードし街頭宣伝を行うとともに、各庁舎で内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深める全国的な運動です。7月は運動の強化月間となっております。各地でキャンペーンが行われました。



第22回サザンレク片添山口県知事杯ビーチバレー大会2015が、7月12日、片添ヶ浜で開催されました。

大会には県内外から81チーム、210名が参加。2人制の男子の部と女子の部、4人制の男女混合の部に別れ、各コートで熱戦が展開されました。

昨年の大会は台風の影響で中止となりましたが、一昨年の64チームを上回る参加があり、会場は大変賑わいました。

【P 10 ちよび塩クイズ答え：620回】

食品の加工技術の進歩により、噛む回数は減り、卑弥呼の生きた弥生時代の6分の1にまで減っているそうです。